

配送会社の選び方と配送費の比較【EC通販の始め方】



マルチコンタクト
コミュニケーション



デジタルトランス
フォーメーション



カスタマー
エクスペリエンス

RE:DESIGN

Digital Marketing

Electronic Commerce

Contact Center



Global Digital Transformation Partner

1. 配送会社どうやって決める？
2. 大手配送会社6社の特徴比較表
3. ヤマト、佐川、日本郵便、西濃運輸、福山通運の配送費(価格帯)比較表
4. 配送する荷物の大きさの決め方
5. Shopify専用物流倉庫スピードロジではどうなのか

1. 配送会社どうやって決める？

通販を始める際、配送会社の使用はほぼ必須です。受けた注文をすべて自分たちでお客様の会社に発送する、、、これはなかなか難しいことです。公式HPに掲載されている情報をもとに配送会社様を比較してみました。

実際決める際にはHPの情報だけをうのみにせず、配送会社様の営業所にて話を聞きましょう。HP以上の良い提案をいただける可能性があります。または、物流業務をすべて委託し配送会社様とのやり取りまでお任せするのも一手です。

参照ページ

ヤマト運輸 <https://business.kuronekoyamato.co.jp/>

佐川急便 <https://www.sagawa-exp.co.jp/>

日本郵便 <https://www.post.japanpost.jp/index.html>

西濃運輸 <https://www.seino.co.jp/>

福山通運 <http://corp.fukutsu.co.jp/>

日本通運 <https://www.nittsu.co.jp/>

1. 大手配送会社6社の特徴比較表

通販物流でよく使われる6社を比較してみました！

まずは個人の宅配でよく利用される3社！（2021年12月当社調べ）

特徴	ヤマト運輸	佐川急便	日本郵便
温度帯	常温 冷蔵 冷凍	常温 冷蔵 冷凍	常温 冷蔵
ポスト投函サイズ対応	あり (ネコポス)	なし	あり (レターパック、クリックポストなど)
宅急便取り扱いサイズ	コンパクト・60サイズ・80サイズ・100サイズ・120サイズ・140サイズ・160サイズ・180サイズ・200サイズ	60サイズ・80サイズ・100サイズ・140サイズ・160サイズ <small>(飛脚ラージサイズ宅配便では170サイズ・180サイズ・200サイズ・220サイズ・240サイズ・260サイズあり)</small>	(ゆうパック) 60サイズ・80サイズ・100サイズ・120サイズ・140サイズ・160サイズ・170サイズ
土日祝配送	○	○	○ (2021年10月から手紙・はがき、ゆうメールの土曜日配達中止となるが、基本通販の配送で使用するサイズには影響なし)

1.大手6社比較表

次に法人でよく使われる6社です！（2021年12月当社調べ）

特徴	西濃運輸	福山通運	日本通運
温度帯	常温 冷蔵 冷凍	常温 冷蔵	常温 冷凍 冷蔵
ポスト投函サイズ対応	あり (カンガルーPostalメール便)	なし	なし
宅急便取り扱いサイズ	(個人様宛を対象としているカンガルー宅配便) Pサイズ、Sサイズ、Mサイズ、Lサイズ *1個当たり縦・横・高さの3辺の合計が130サイズ以上、又は重さが20kgを超える場合、複数口の場合は配達実費加算	(個人様宛も可能なフクツーフクツウ宅配便) 縦・横・高さの3辺の合計が、60cm以下、80cm以下、100cm以下、120cm以下、140cm以下、160cm以下	個人宅宛配送はなし (ペリカン便は日本郵便のゆうパック事業へ2010年に引き継がれた)
土日祝配送	○	店舗により対応が異なる	アロー便 土曜日のみ、一部の祝日は対応（営業カレンダーに準ずる）

1.大手6社比較表

前半の3社と後半の3社で分けたのには理由があります。

前半は一般の個人宅への配送を行っており、通販でもよく使われる業者様になっております。小さい荷物の配達取り扱っており、沖縄県の離島を含め配送できる地域がほとんどです。

後半は法人向けに配送を行っていることが一般的です。個人宅宛の配送に使えるサービスよりも法人向けに使えるサービスの方が多く、会社によっては配達不能地域や直配でない地域もあるので、確認が必要です。個人宅の配送ではなく、商品を倉庫へ送るなど会社→会社間での輸送ではお世話になる機会もあるでしょう。

2. ヤマト、佐川、日本郵便、西濃運輸、福山通運の配送費(価格帯)比較表

公式HPの情報では価格帯はどうなるのでしょうか？ 関東(千葉)→関東(東京)の場合で3辺の縦・横・高さが60cm、100cm、160cmの場合の3つのパターンに分けて出してみました。(2021年12月当社調べ)

ヤマト運輸 https://www.kuronekoyamato.co.jp/yt/search/payment/result_01.html?SERVICE=TK&PARA_HATSU_CHIIKI=%E9%96%A2%E6%9D%B1&PARA_CHAKU_CHIIKI=%E9%96%A2%E6%9D%B1
 佐川急便 https://www.sagawa-exp.co.jp/send/fare/list/sagawa_faretable/faretable-4.html#ft01
 日本郵便 https://www.post.japanpost.jp/service/you_pack/charge/ichiran/12.html
 西濃運輸 <http://stc.deliveryseino.jp/unchin/unchin.20191001.pdf> * 1 配達実費計算 <https://www.seino.co.jp/seino/mail2/branch/kozinate.pdf>
 福山通運 <http://corp.fukutsu.co.jp/service/f-takuhai/faretable.html>

配送会社	60cm以内	100cm以内	160cm以内
ヤマト運輸	930円	1,390円	2,070円
佐川急便	770円	1,386円	2,068円
日本郵便	870円	1,330円	2,060円
西濃運輸	847円(Pサイズ)	1,331円(Sサイズ)	? (* 1 参照)
福山通運	990円	1,430円	2,320円

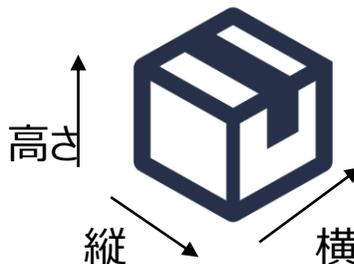
この金額は個人で出す場合の一般料金です。
 つまり大口割引や営業所持込割引など一切されていません。
 参考にこの数字を出していますが、必ず営業所の方とコミュニケーションを取り確認する必要があります！！
 (価格交渉をする場合はある程度の物量が必要です。)

3. 配送する荷物の大きさの決め方

60サイズ、80サイズ、、、などよく言葉を聞くかと思えます。実際にどうやってサイズを決めるのか見ていきましょう。会社によっては同じサイズでも対応する重量が違う場合があるため、要注意です。

サイズを決める際に見るべきポイント

- ・箱の縦・横・高さの合計(cm)
- ・梱包した箱を含めた荷物の重さ



ヤマト運輸	60サイズ	80サイズ	100サイズ	120サイズ	140サイズ
縦・横・高さの合計	60cm以内	80cm以内	100cm以内	120cm以内	140cm以内
重量	2kgまで	5kgまで	10kgまで	15kgまで	20kgまで

ヤマト運輸	160サイズ	180サイズ	200サイズ
縦・横・高さの合計	160cm以内	180cm以内	200cm以内
重量	25kgまで	30kgまで	30kgまで

3. 配送する荷物の大きさの決め方

佐川急便	60サイズ	80サイズ	100サイズ	140サイズ	160サイズ
縦・横・高さの合計	60cm以内	80cm以内	100cm以内	140cm以内	160cm以内
重量	2kgまで	5kgまで	10kgまで	20kgまで	30kgまで

日本郵便	60サイズ	80サイズ	100サイズ	120サイズ	140サイズ
縦・横・高さの合計	60cm以内	80cm以内	100cm以内	120cm以内	140cm以内
重量	25kgまで	25kgまで	25kgまで	25kgまで	25kgまで

日本郵便	160サイズ	170サイズ
縦・横・高さの合計	160cm以内	170cm以内
重量	25kgまで	25kgまで

3. 配送する荷物の大きさの決め方

西濃運輸	P	S	M	L
縦・横・高さの合計	60cm以内	70cm以内	100cm以内	130cm以内
重量	2kgまで	5kgまで	10kgまで	20kgまで

福山通運	1	2	3	4
縦・横・高さの合計	60cm以内	80cm以内	100cm以内	120cm以内
重量	2kgまで	5kgまで	10kgまで	15kgまで

福山通運	5	6
縦・横・高さの合計	140cm以内	160cm以内
重量	20kgまで	30kgまで

* 福山通運はサイズ名がないため、金額が変わる大きさ、重量ごとに数字を振っています

4.Shopify専用物流倉庫スピードロジではどうなのか

Shopify専用倉庫スピードロジではネコポスでヤマト運輸を、60サイズ以上は佐川急便を利用しています。また、日本郵便様のご利用に関してはご相談下さい。

配送会社を決める際、通常なら担当の方が各営業所に回る必要があります。今回紹介したヤマト運輸、佐川急便、日本郵便すべての営業所に回る必要があり、各会社で出荷計画などお話しすることになるかと思います。実は結構大変です。決まった後も、イベント商戦で通常月の何倍以上出荷します！という企業様の場合、出荷の調整も行う必要があります。そのうえ自社で梱包を行っている、モールでは予想以上の出荷量で出荷予定日から発送が遅れ、お客様のレビューが悪くなるという可能性につながってしまいます。

スピードロジのような物流倉庫に委託すれば、すでにスピードロジが交渉している配送会社の価格で発送でき、複数の営業所を回る必要がありません。また、出荷量が急に増えた場合にも対応いたします(イベント期など事前の情報共有をお願いします。)スピードロジは自社倉庫のため、倉庫見学も行っております(コロナウイルスの影響にもよる)。



**SPEED
LOGI**

受注処理～発送まで
まるっとおまかせ！



SPEED LOGI

Shopify向けフルフィルメント
「スピードロジ」では倉庫・物流
以外にも多様な知見を元に
貴社事業の運用をご支援致します

<https://transcosmos-ecx.jp/service/speedlogi>